

Ciao! Italiana!



美しき獣・ピエガ 順調にオーダー消化

イタリアンモデルに情熱をもって向きあうパッシオーネが
モンディアル・ピエガの取り扱いをスタートしてほぼ1年
デリバリーも順調、いよいよ残り台数もカウントダウン!?

PHOTO/S.MATSUKAWA

モンディアル本社でも生産順調
限定200台のうち、70台の生産を消化

パッシオーネ・イタリアーナの業務内容のうち、代表の原田さんがもっとも情熱を注いでいる部門、それがモンディアル・ピエガの取り扱いだ。もちろん、ラベルダやドゥカティ、アプリリア、MVアグスタや、最近ではハスクバーナ・モタードの販売も熱意たっぷりで行っているけれど、どうしてもヒキしちゃうのが、ピエガなのだそう。

「車両販売も整備もサービスも、もちろん100%の情熱でやっています。でもピエガは120%出ちゃいますね(笑)。それくらいすばらしいバイクを扱っていると思うし、どうしてもかわいいんです」

好きこそもの上手なれ、ではないが、パッシオーネの方針は、とにかく面白いことをやる、ってこと。ピエガに力が入るのも、無理からぬことなのかもしれない。

世界200台限定で生まれたモンディアル・ピエガは、昨年の春からワールドデリバリーを開始し、完全ハンドメイドの生産体制のまま、現在70台あたりまで生産が終了し、シリアルナンバーの刻印が済んでいる。現在の生産状況は1日2台が限度で、OEMパーツがそろってから組み上げるため、このペース。そして日本には今、5台のピエガが走っている。

「ここまでの入荷ペースで、やっと日本でのこれまでのオーダーを消化できました。あとは決まっ



ているのが数台と、現在、商談に入っている車両
があって、今は次回入荷を待っているところだ」
世界限定200台のうち、日本に割り当てられる
のは約20台。しかしそれも、徐々に埋まり始め
てきている。ピエガに迷っている、という電話や
問い合わせも多いようだが、そろそろ迷っている
と手遅れになる時期なのかもしれない。

「安い買い物ではありませんし、歴史に残る貴重
なモデルになるわけですから、本当に納得した方
にだけ買って頂きたい、と思っています。でも、
日本への割り当て台数分もそろそろメドがついて
きて、そんなことも言っていられなくなってきた
かもしれませんね」

そのピエガのために、パシオーネ・イタリア
ーナでは、バックアップ・ファイナンシャルとい
うクレジット購入コースを用意した。これは、車
両本体価格のうち、あらかじめ残価を設定し、そ
れを取り除いた分に対してローンを組める、とい
うもの。クルマの残価設定ローンのように、残価
は下取り価格として相殺されるシステムではなく、
設定した残価は、最終支払い時に一括清算するか、
再びローンを組んでもいい、というものだ。

設定できる残価は支払い回数によって変わっ
てくるが、最大30%の残価設定も可能で、車両本
体価格3万ユーロ（日本円で約390万円）のピエガ
が、実質約270万円としてクレジットを設定で
きる、というものだ。すでに、ピエガに乗りたい
けれど、やっぱり価格が……というファンから問
い合わせもあるようだ。詳細はショップまで。

息を呑むほど繊細で華奢で そして力強いネイキッドなピエガ

そして今回は、ちょうど入荷したてのピエガを、
新車状態でストリップ撮影させていただくことが
できた。通常はカウルに隠されているため、ピエガ
のルックスは、ごくオーソドックスな印象。しか
し、そのカウルを外すと、肉体美というか、マ
ジックな、別の一面を見て取ることができる。

HONDA-RACINGの刻印がクランクケースに
入ったVTR1000SP-1エンジンを、クロームモ
リブデンのトラスパイプフレームに抱く基本スタ
イルに、力感あふれる倒立フォーク、スイングア
ーム。太さと細さを巧みに組み合わせたピエガは、
意外なほど繊細で、そして力強く、美しかった。

「欲を言えば、ファンの皆さんにこの美しさをも
っと知って欲しい。ドゥカティやアグスタとはま
た違う、本当に宝石のようにきれいなバイクです。
ぼくがピエガに入れ込むのは、歴史的背景や性能
だけでなく、この美しさのせいでもあるんです」
原田さんのピエガに対する情熱はホンモノだ。



SP-1でもめったに見ることのないエンジンのサイドビュー。コンパクトなメインフレームは、1000ccのVツインが位置しているのがわかる。まさに一分のスキもない、合理的なレイアウトだ。



クロームパイプをハンドメイドで組み合わせたフレームは、驚くほどコンパクト。パイプ径、パイプ肉厚をパイプによって変え、バランスの良い剛性を確保している。觀賞用と言っても通用するほど美しいフレームだ。



シリンダーヘッドが見えるサイド部分。マグネシウム製のクランクケースカバリーに「HONDA RACING」の刻印。このカットで見えるエキパイの取り回しは、次回生産ロットから新しいレイアウトにマイナーチェンジ。



HRC製のリアクオリスパーバイクレーサーのよきなV字レイアウトを見せるラジエーター&オイルクーラー。ピエガは、SP-1だけとは違って、レーシングマシンのエッセンスも持ち合わせたモデルである。

ピエガがMINEに初登場 地方のお客様もご安心を!

モンディアル・ピエガへの問い合わせで多いのが「地方に住んでいるのですが、もし購入するとしたら、アフターサービスはどうなるんでしょう」というもの。しかしご安心あれ、モンディアルの輸入総代理店であるグリースモンキー・パシオーネ・イタリアーナでは、全国に特約ショップを用意して、全国統一のアフター&メンテサービスを実施する体制を整えている。

「ピエガに関しては、少数限定のプレミアムモデルということもあって、パシオーネ・イタリアーナとユーザーさんとの、マンツーマンサービスとオーナー管理をさせていただいています。サービスやメンテナンスは、右の特約ショップでOK。このショップも、随時お客様に紹介する体制です」(原田さん)

6月8日には、山口県のセントラルパーク・MINEサーキットで行われた、広島の実主催によるイタリアンバイクだけのミーティングにピエガが初登場。参加者の皆さんの熱い視線を浴びていました。

「今後も、こういった全国のイベントに積極的に参加して、日本中のみなさんにピエガを見ていただきたいです」



MINEのパドックに展示されたモト・イタリアーナのなかでも、ひととき存在感の高かったピエガ。やはりサーキットがよく似合います

モンディアル 全国問い合わせ先

- | | | |
|----|-------------|-----------------|
| 関東 | パシオーネイタリアーナ | TEL045-664-3981 |
| 中部 | モトプラス | TEL052-804-2378 |
| 関西 | ボスコモト大阪 | TEL0727-25-3311 |
| 中国 | デスモ | TEL082-545-3370 |
| 九州 | スティーブMCサプライ | TEL092-954-0013 |